

## 第34号決議) PSI部門ネットワーク

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会  
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

以下の点に留意する。

現段階で公共部門労働者が直面する課題は多い。課題は深刻だが問題は同じである場合が多い。各部門が抱える課題は、ほぼ同一の方向性と意味を持つ。

部門ネットワークにできることには限界があるが、組合をまとめ、共通の問題を探究し、アイデアを考案し、取り組みを計画し、フィードバックを提供し、連帯と共通の利益を築き上げる機会を生み出すことができる。また、組織化の側面において、基盤ともなりうる。

さらに以下の点に留意する。

加盟組合が直面する問題は、彼らを団結させる問題であることが多い。われわれは、これらの課題と成果を共有できるようにする必要がある。

われわれは、下記の部門の組合とメンバーを代表するものの、各部門内で加盟組合から加盟組合へ情報を共有・交換する能力を持たない。

以下を求める。

- **PSI 加盟組合**は、独自の部門グループを確立し、必要に応じて関心のある部門加盟組合による部門ベースの運営委員会を発足させることができる。この運営委員会にはすべての加盟組合が参加でき、PSI 書記局の支援のもとで加盟組合が調整を行う。
- **PSI は、取り組みと計画策定の一環として、**加盟組合が直面する課題に関する取り組みと活動を通じた加盟組合数と加盟数の増大に努める。
- **加盟組合の協力を援助するために、**
  - PSI は加盟組合との直接協議を通じて、以下などの分野を含んだ部門作業計画と PSI の各部門に対する産業別アプローチを策定する。 -
  - 保健サービス、ソーシャルケアサービス
  - 水・電気 — 公益事業
  - 地方政府
  - 国家および連邦政府業務
- **教育、芸術、メディア**  
(部門を追加できるが、削除はしない)
- 作業計画は、必要に応じて (必要な場合は加盟組合独自の費用により) 電子的手段や PSI 加盟組合の実際の会議を通じて得られた加盟組合の意見を基に作成する。
- 作業計画は、職場の安全、業界の動向と新たな展望、加盟組合がどう反応し、知識と専門性を共有できるか、ならびに組合**組織化**の側面など、加盟組合が直面する問題を扱うべきである。
- 部門の作業計画は、PSI の中核的な原則である**質の高い公共サービス、公平性、労働組合権、「PSI 行動プログラム」**によって裏打ちされる。
- 加盟組合には、妥当であれば PSI 作業計画と活動を各自の組合の取り組みで活用するよう奨励すべきである。

世界大会は以下を決議する。

- 上記の行動要請を承認し、支持すること。
- PSI は既存あるいは将来の機構のうちどれが PSI 内の部門別活動にとって最も有用であるかを徹底的に調査すべきである。これには PSI 書記局と緊密に作業するしっかりとした頼りになる機構がかかわらなければならない。簡単なインフォーマルなネットワークも手始めには良いが、長期的には不十分である。関連する部門は次のとおりである